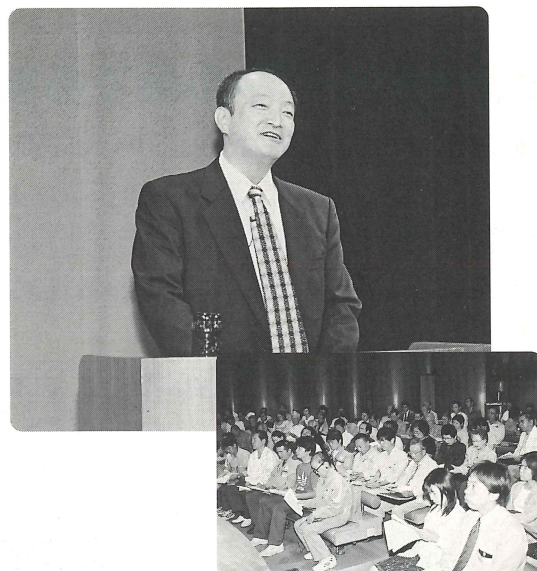


2001 市民ひゅーまんセミナー

講演『現代のお葬式を考える』～習俗・因習と人権～
寺院住職 武田 達城さん

9月から10月にかけて、4回にわたって行いました「2001市民ひゅーまんセミナー」。各分野の専門の方をお招きして、さまざまな人権の課題について学習しました。その中から10月4日(木)に行いました「現代のお葬式を考える」に参加された140名の方々の中から感想を紹介します。

- ・習俗・因習や葬儀について認識を新たにしました。
- ・日頃から意識する事なく行ってきたことが、本当はとても大切な事だと気付きました。
- ・偏見や迷信が差別を生むということが理解できた。(アンケートより)



■地区委員会代表者研修会開催

地域における啓発の推進役として、幅広い人権分野の各課題についての認識を深めるとともに、各地域の啓発課題について他地域との交流を深める目的で、9月29日(土)女性センターにおいて27名の参加を得て開催しました。

一部では、差別のない家庭・地域をつくる実践のあり方を示唆した、人権啓発映画「おばあちゃんありがとう」を鑑賞しました。

二部の3つのグループ別交流会では、人権協としてのあり方や各地区活動の取り組みの様子など、活発な意見交換がおこなわれ、他地区委員会との積極的な交流と共通理解がはかられました。

今後も皆さんのご意見を参考に、よりよい研修の機会や交流会を設けたいと思います。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。



催し・研修会 ご案内

*リバティおおさか

(大阪人権博物館 ☎6561-5891)

企画展 「ナヌムの家」絵画展(仮題)

期 間 11月20日(火)～12月16日(日)まで

*ピースおおさか

(大阪国際平和センター ☎6947-7208)

ユネスコ・アジア太平洋写真展
「平和～違いを越えて」

期 間 11月25日(日)まで

*2001人権フェスティバル

主 催 吹田市・吹田市教育委員会
吹田市人権啓発推進協議会

日 時 12月2日(日)午後1時30分～

場 所 吹田市文化会館(メシアター)中ホール

内 容 ●オープニング 市民コーラス「バンブー」
●セレモニー 市長・議長挨拶／来賓紹介
●人権のための絵本コンテスト表彰式
●講演「ITが拓く新しい社会」
～障害者はチャレンジ～
講師 竹中 ナミさん
(プロップ・ステーション理事長)

発行／吹田市人権啓発推進協議会
〒564-0041 吹田市泉町1-3-40
☎(06) 6384-1231(代)内線2596～8
☎(06) 6368-7345(直通)

(再生紙を使用しています)

吹田市 人権協だより



No. 11

平成13年(2001年)11月

じんけんネット吹田



●憲法と市民のつどい●

5月26日(土)メシアター中ホールにおいて、「子どもの心の声を聴く」～相次ぐ事件の背景～と題して、教育ジャーナリストの青木悦さんが講演。大きな社会問題となっている少年事件の取材を通して、子ども達の現状とまわりのおとな達の問題点を探りながら、事件の背景に何が起きているのか、子どもを追いつめているものとは何か、「事件」を防ぐものとは何かなど、豊富なご経験の中からとても分かりやすいお話でした。

また、講演後、歌手の伊藤裕子さんらによる、手話シャンソンコンサートを開演。懐かしいシャンソンの名曲に手話をつけながら数々披露され、参加者一人ひとりの心に深く響きました。



『ここがヘンだよ!マルマルマル』

4月14日(土)岸一・岸二公民館、第二中学校区地域教育協議会との共催で、言いたいけど言えないことがたくさんあるんじゃないかとの思いから「ここがヘンだよ!マルマルマル」を開催しました。まず、自分達の家庭を見直して、三世代の立場から考えた寸劇を題材としました。フリートークでは子どもから寸劇に出てくる様な親からの押しつけなどの意見もあり、改めて家庭での個人の役割や関わりが非常に大切である事が伺われました。おとなも家に帰れば寸劇の様な対応をしている事の反省もできました。今回の寸劇は初めての試みでしたが、中学生、高校生の協力のもと校区内の校長先生はじめ地域の皆様の全くの素人の手作り寸劇でした。これからも自分達でできる取り組みを増やしながら、お互いの違いを認めあえる様に取り組んで行きたいと考えます。

(岸一・岸二地区委員会)



『三世代交流グランドゴルフ大会』

6月3日(日)にグランドゴルフを通じて世代交流を図る目的で「三世代交流グランドゴルフ大会」を地区公民館と共催で、体育振興会のご協力のもと千里新田小学校で開催いたしました。参加者は、90才台のお年寄りから小学生までの三世代、車椅子の方も参加され、総勢70名となりました。はじめに西島校長先生より「人権～心のふれあい～について」のお話がありました。次いで晴天のもと好プレーが続出し、特に車椅子の方のホールインワンもあり拍手喝采でした。目的であった世代交流が楽しく活発に行われ有意義な一日でした。

21世紀は人権の世紀と言われています。今後できるだけ交流の機会を持って、人に優しい明るい街づくりに努めて参りたいと存じます。

(千里新田地区委員会 宇山秀明)



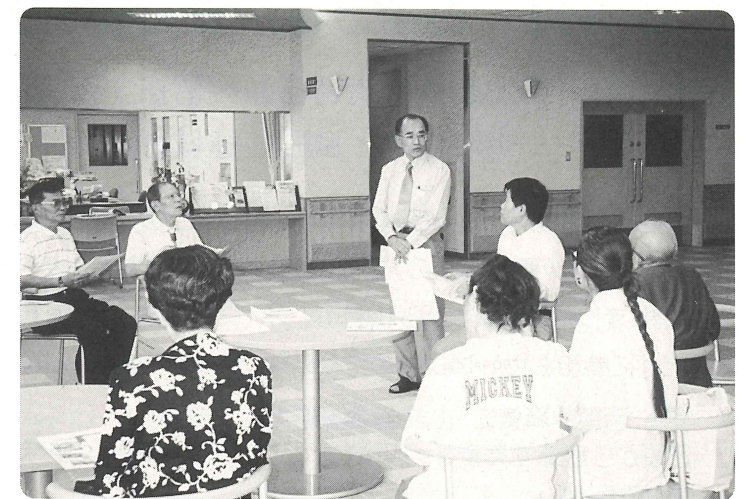
出
会
い
感
動
発
見

『夏まつりin五月が丘』へ反戦平和反差別のパネル展で参加!!

「夏まつりin五月が丘」を8月4日(土)に釈迦が池芝生公園で開催しました。この夏祭りは、平成9年に地域のたくさんの団体の協力で開催したもので、現在、五月が丘の町の地域のみなさんの祭りとなり、5,000人もの多くの人達でにぎわうようになっています。東佐井寺地区委員会は、数年間パネル展示で人権啓発活動を積極的に行ってきました。

さらに、東佐井寺地区委員会は、連合自治会や地域の諸団体の連絡協議会の活動や、公民館での人権講演会、公民館文化祭などにも数多く参加しています。

(東佐井寺地区委員会 古本義信)



『あいほうぶ吹田』見学会

「シャロン千里」見学会に続いて、今回6月9日(土)吹田市立障害者支援交流センター「あいほうぶ吹田」を見学しました。真新しい建物の内部には、身体障害者デイサービスセンター、知的障害者更生施設、浴室・プールなどの共同施設があります。ここでは障害者が陶芸・染色などの創造活動をしたり、社会に適応するための訓練も行っています。プールで泳ぐ人もいます。私は、障害者支援施設を見学するたびに、もっともっと人に優しくしなければと思います。すべての人達が幸せに生きてほしいと考えます。人権は、自分で自分の権利を主張・表現しえない人々にも、平等に与えられなければならないものです。このように人権意識を高めた見学会でした。

(藤白台地区委員会 立山清弘)

人権啓発研修会『企業と人権』

「人権の世紀」と言われる21世紀のスタートにふさわしい年を目指して、実践の伴った人権感覚等の研鑽を目的に、4月26日(木)に人権協協力企業部会部会長の柳瀬将さんをお願いし「企業と人権」～人権問題の基本的理解～と題して、基本的人権について具体的にかつ分かり易くご講演いただきました。即、実践していける例をあげていただきながらのお話で、人権問題を身近なものとして捉え、人権感覚の研鑽とは何かということを考え、高め合うことができました。しかし、現実社会では信じられないような人権を無視した事件が、次々と起こっています。まずは、個人が感性を高めることで企業としての感性が磨かれ、結果、社会に反映されていくものと信じて、社会に対する自覚と危機感をもって日々研鑽に努力していきたいものです。

(協力企業部会 近藤高廣)

